

# まちづくりワークショップ

## ■美祢市では中心市街地地区の整備に向けて動きはじめています！

本庁舎などの整備が進む中心市街地地区を対象に、美祢のまちでの「暮らし・楽しみ・学び」などを想像しながら、皆さんで意見を出し合います。まちのパブリックスペース（公共空間）を活用する具体的なアイデアを出し合い、新たなまちの姿（イメージ）を考えます。

### 2021年度

市民ワーク  
ショップ

### 2022年度

中高生アンケート調査  
中心市街地地区整備(案)

### 2023年度

まちづくり  
ワークショップ

### 2024年度以降

中心市街地  
地区整備設計・施工

今年度は市民参加型の  
ワークショップを2回開催します

#### 第1回

2023年9月26日  
まちの利活用イ  
メージと全体デ  
ザイン方針につ  
いて

#### 第2回

2023年11月21日  
エリアごとの具  
体的な利活用と  
デザインについ  
て

結果を反映し  
空間デザインを作成します

美祢市のイメージに合った統一  
的な景観を創り出し、魅力  
的かつ賑わい再生が期待され  
る、整備実現のための空間デ  
ザインを作成します。

2024年度  
以降にすること

- ・美祢駅前交流広場
- ・美祢駅西側駐輪場、  
駐車場
- ・新図書館緑地等の  
整備を進めます。

## ■第1回のスケジュール

### ① 昨年度のふりかえり

- ・市民ワークショップ
- ・中高生アンケート
- ・重要な視点の抽出

### ② ワークショップの内容

- ・中心市街地地区整備(案)  
のおはなし
- ・美祢デザインノート※に  
ついて

### ③ グループワーク

- ・まちの紹介文と美祢の「暮ら  
し・楽しみ・遊び」を考えよう
- ・こんなまちになればいいな

### ④ まち全体の方針確認

- ・発表のまとめ
- ・全体方針の確認
- ・ふりかえりシート

※美祢デザインノートとは：中心市街地を魅力的な空間にするための将来像を皆で共有するためのノートです。

中心市街地のまちづくりに関する基本的な指針が書かれており、この指針をもとに、整備を進めていきます。

## 「ワークショップの内容」を一部ご紹介

「ワークショップのファシリテータを務める山田です。これまでの報告資料、現地踏査から抽出した視点に基づいてグループワークを進めましょう！」

- ・駅前のポテンシャルを引き出す場所づくり  
交通だけでなく「憩う・賑わう場所」として  
桜並木を活かした空間づくり
- ・身近な憩える場所としての広場や公園づくり
  - ・まちなかの回遊を促す道や、ベンチの設置
  - ・賑わいと文化を育む場所に

### 山田 裕貴

景観デザイナー/土木デザイナー  
株式会社Tetor 代表取締役  
株式会社風景工房 共同代表  
博士（工学）/東京大学  
登録ランドスケープアーキテクト  
法政大学・東京大学他非常勤講師



## グループワーク

参加者は総勢26名！美祿で働く人や暮らす人に加え、高校生や赤ちゃん連れのママ、WE B参加の大学生などバラエティ豊かな方々にお越しいただきました。



### 1班 担当/飯田



- ①まちで安心して楽しめるよう、川沿いの道幅やライトアップ、子どもの遊び場、駐車場などを提案。
- ②人が集まりやすい場所

### 2班 担当/山下



- ①周辺に勉強や仕事、交流の場を作る。花や桜の歩道、自動運転バスで街中を繋ぐ。
- ②子どもからお年寄りまで楽しめる"麗し"のまち

### 3班 担当/菅木



- ①エリアや動線を工夫することでまちの周遊を促し、魅力の発信に繋げたい。
- ②魅力を十分に活用、発信できるまち

### 4班 担当/田中



- ①複合図書館、古民家の活用、色の統一、魅力の情報発信などにより、歩きたくなるまちに。
- ②歩きたくなるまち

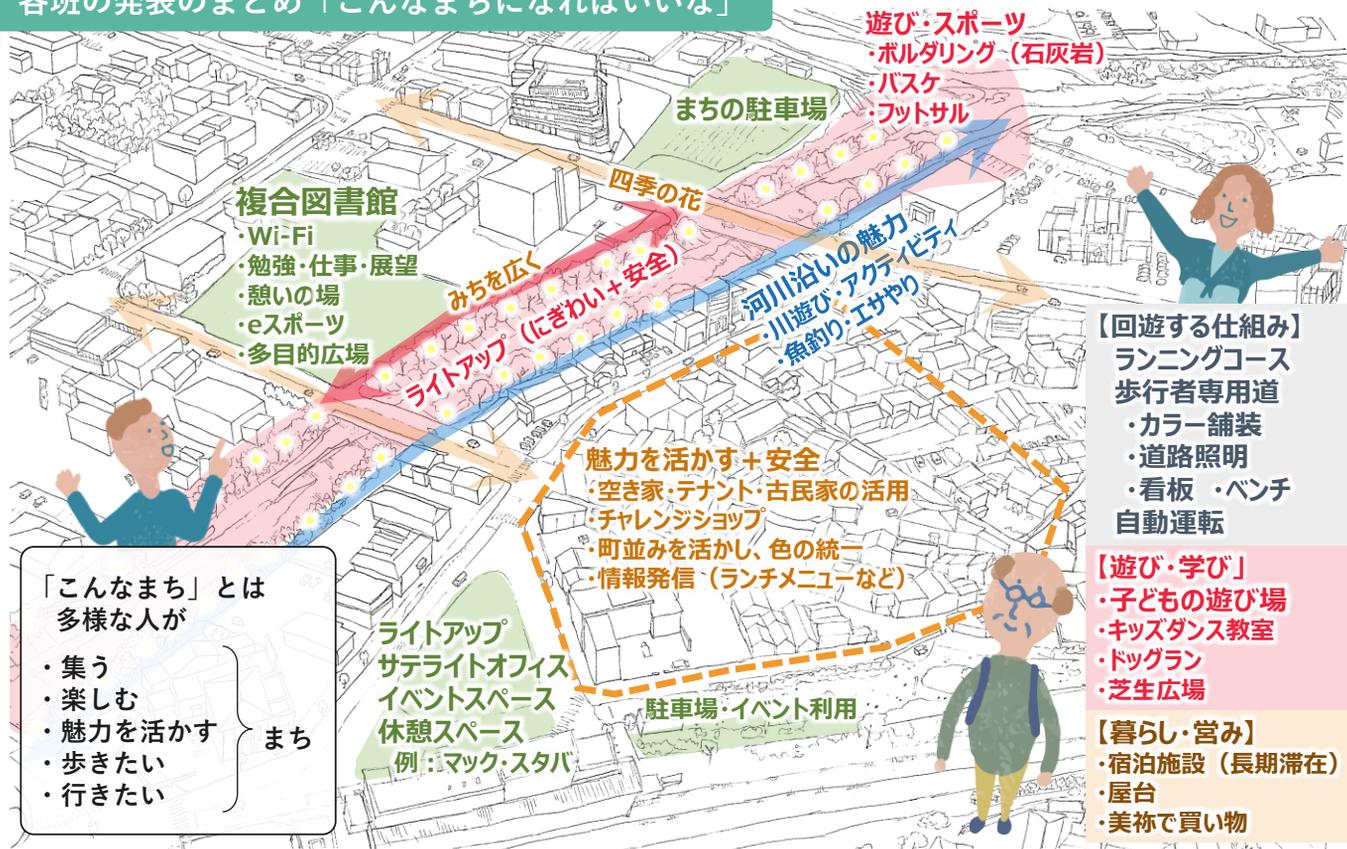
### 5班 担当/西崎



- ①日常的に川辺が賑わう。駅前に学生の居場所があり行催事も盛ん。空き家・空き店舗等にテナント誘致。
- ②行きたくなる駅前エリア

①特徴 ②美祿を一言で

## 各班の発表のまとめ「こんなまちになればいいな」



「こんなまち」とは  
多様な人が

- ・集う
- ・楽しむ
- ・魅力を活かす
- ・歩きたい
- ・行きたい

まち

### 【回遊する仕組み】

- ランニングコース
- 歩行者専用道
- ・カラー舗装
- ・道路照明
- ・看板 ・ベンチ
- 自動運転

### 【遊び・学び】

- ・子どもの遊び場
- ・キッズダンス教室
- ・ドッグラン
- ・芝生広場

### 【暮らし・営み】

- ・宿泊施設 (長期滞在)
- ・屋台
- ・美祿で買い物

## ワークショップ後にいただいた「ふりかえりシート」のご意見

### ● 班の発表のまとめ

- ・人が集まるには「行きたくなる」イベント・お店・居場所が必要
- ・複合図書館として整備する ・一年を通して桜を楽しむ

### ● 高校生の参加について (学生アンケートの結果)

- ・学生の意見が聞けてよかった ・学生が楽しめる場が必要だと感じた

### ● 意見交換をしてみても

- ・色んな人の意見が聞けてよかった ・多くの人に参加して欲しい
- ・もっと多様な人のアイデア・知が必要 ・質問時間を多くしたらよい

### ● その他

- ・休日でも美祿を楽しめるといい (市外にいつてしまう)
- ・市民が住みやすければ、市外の人でも訪れてくれる

### 今回のワークショップに向けて

「駅近にマックスタバがあれば、気軽に寄り道できる自分たちの居場所ができてうれしい」という声に「高校生の意見が聞けてよかった」という感想が多く寄せられました。

美祿の魅力を活かしたみんなの居場所づくりについて、考えてみませんか？